

○ 委員長報告

6月定例本会議で報告された環境保健福祉委員長報告は、以下のとおりです。

令和5年6月定例会

環境保健福祉委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、伊方発電所の安全対策についてであります。

このことについて一部の委員から、伊方発電所の安全対策に係る県の取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県では、伊方発電所の安全対策を国任せにすることなく、四国電力に対し、国の基準を上回る電源対策や揺れ対策など県独自のアクションな安全対策を求めるとともに、信頼関係の根幹である「えひめ方式」による通報連絡の徹底を要請してきた。

また、四国電力から県に、安全協定に基づき事前協議があった伊方3号機の使用済樹脂貯蔵タンクの増設については、今後、原子力安全専門部会の審議結果や原発立地県としての立場を踏まえ、伊方原発環境安全管理委員会で審議いただいた上で、県として、今回の増設計画が安全確保及び環境保全上適正なものか、同委員会や地元の意見などを基に、総合的に判断する旨の答弁がありました。

第2点は、ねんりんピックの本県開催についてであります。

このことについて一部の委員から、機運醸成に向けた広報活動の状況とeスポーツオンライン大会の準備状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、これまで、広報キャラバン隊による地域イベントでのPR活動やカウントダウンボード等の設置、オリジナルフレーム切手の作成等を通じ機運醸成に取り組んできた。今後も、ラッピング電車・バスの運行、主要交通拠点への歓迎装飾設置、マスメディアを活用した広報等により、切れ目なくPRしていく。

また、ねんりんピック初開催となる対戦型eスポーツオンライン大会については、東中南予の会場を繋ぐトーナメント戦や、他県選手・県内高校生とのエキシビジョンの実施に向け、現在PRを行っており、8月上旬に県内選手を公募予定である。今後、eスポーツによるシニアの生きがいづくりを推進してい

きたい旨の答弁がありました。

第3点は、医療・福祉分野における物価高騰対策についてであります。

このことについて一部の委員から、昨年度の医療・福祉版応援金との違いはどうか。また、今後の実施スケジュールはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、昨年度は、診療・介護報酬など国の単価により運営が行われ、光熱費等の高騰分が手当てされず、大きな負担となっている医療機関や福祉施設の一助となるよう制度を創設し、約1万施設に応援金を支給したものである。

今回は、物価高騰が長期化する中、国の支援が十分でない食料品を対象として、食材費の高騰分を施設側が負担し、利用者に食事を提供している医療・福祉施設を応援するものであり、対象施設は有床の医療機関や入所系・通所系の福祉施設約3,800施設を想定している。今後は、8月中旬に申請受付を開始し、10月中には支払いを完了したい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 中小企業エネルギー利用見える化推進事業
- ・ フードバンク活動の取組状況
- ・ 海洋ごみ対策
- ・ 企業等との連携による出会い・結婚支援
- ・ 障がい者におけるデジタルの利活用

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願3件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。